

新世代 Laser Bird

最新型精密三次元電子地図作成システム

速報版！！



2018年4月、日本初のシステムを導入！！

当社記念すべき10台目の陸上用航空レーザ計測システムを導入！！

※ 当社では1998年10月導入の初代LaserBird以来、お客様(社会)の需要に応えるために計画的な機材更新を通して20年にわたる航空レーザ測量へ取り組んでおり、卓越した技術と経験を蓄積しています

導入新機材の概要

※ 固定翼航空機による高密度計測の実現(国内初)

- ✓ 最大で毎秒100万回のレーザ照射で、今まで道路、鉄道施設をヘリコプターで計測していた高密度コリドーマッピング(1コース計測)が固定翼で実現
- ✓ 高密度計測で飛行時間はこれまでの30%以上減！！

※ ダイナミックスキャン計測の実現^{※1裏面で説明}(国内初)

- ✓ 地形起伏の影響を排除し計測幅と計測点密度を一定化する機能を持ち、ヘリコプターによる等対地高度飛行(コンターフライト)と同様の効果で、山間地でもコース数低減による計測時間(日数)とデータ処理費用の低減を実現

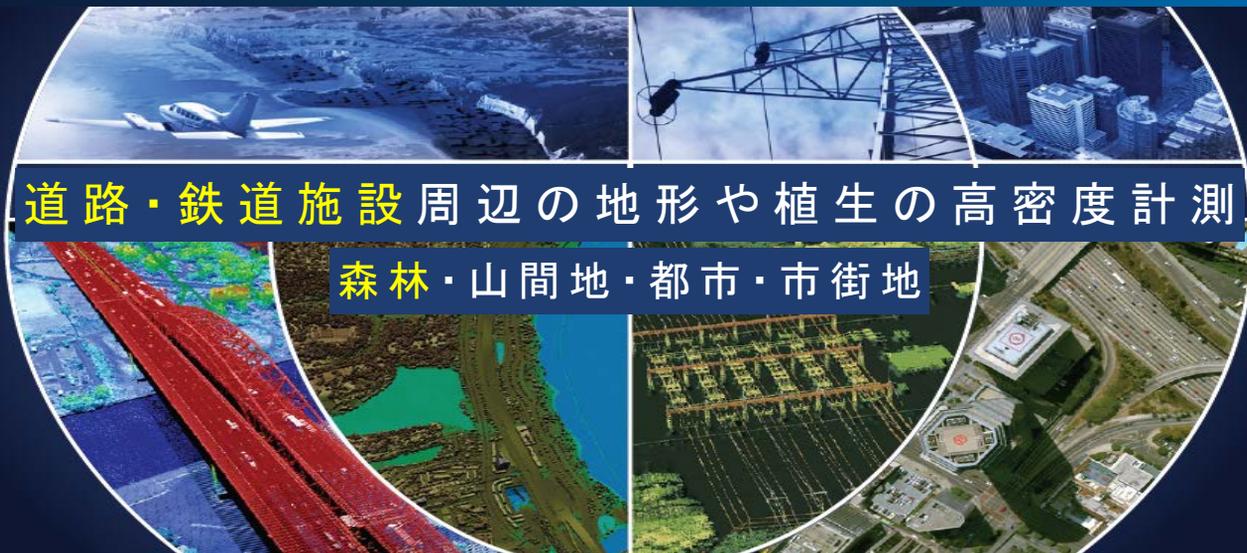
※ 陸上用の航空レーザ計測に姿勢制御装置を導入(国内初)

- ✓ 姿勢制御装置が航空機を揺れを補正し、より均一な地表面をレーザ計測を実現し、計測品質の向上を実現

※ 強化された計測パルス(最大毎秒100万発の波形記録パルス:国内初)

- ✓ 通常パルスと同じレートで波形記録を取得。両パルスの特長を補完した計測を実現。通常パルスは8リターンを計測可能

適用分野



道路・鉄道施設周辺の地形や植生の高密度計測

森林・山間地・都市・市街地



アジア航測株式会社

<http://www.ajiko.co.jp/>

Laser Bird™ Terrain Mapper



※1 ダイナミックスキャンについて



ダイナミックスキャン機能 OFF



ダイナミックスキャン機能 ON

卓越した基本性能

機材名称

ALTM Galaxy T1000

最大パルスレート

1,000,000 Hz (100万回/秒)

※銀河系(Galaxy)には1000億の恒星が含まれるとされており、最大パルスレートで計測すると計算上は5日間で1000億パルスに到達

最大スキャン角
(FOV角)

対地高度に反応する可変角度 POWERED BY SwathTRAK™

※10~47度まで常時変化するダイナミックスキャン角により地形起伏の影響を排除し計測幅と計測点密度を一定化(ヘリコプターによる等対地高度飛行と同様の効果で国内初導入)

※航空機揺れを補正するための姿勢制御装置が付属(陸上測量用レーザーキャナでは国内初導入)

パルス記録方式

通常パルス(最大8リターン) + 波形記録

※通常パルスと同じレートで波形記録を取得。両パルスの長所を補完しあう計測を実現(国内初導入)

※他社機材のような標高差によるデータギャップ無し POWERED BY PulseTRAK™

フットプリント

0.25mrad (1/e)

※対地高度が1000m時に直径25cmの円で地表を照射

デジタルカメラ

約1億画素 (RGB)

※近赤外画像の需要には高解像度デジタルカメラ(DMC)で対応

計測可能高度

最大4,700m (対地高度)

お問い合わせ

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2

新百合トウエンティワン

TEL : 044-967-7230

E-mail : service@ajiko.co.jp



アジア航測株式会社

<http://www.ajiko.co.jp/>